

楽天・全世界債券インデックス(為替ヘッジ)ファンド

<愛称：楽天全世界債券>

追加型投信/内外/債券/インデックス型

交付運用報告書

第4期（決算日 2023年2月13日）

（作成対象期間 2022年2月15日～2023年2月13日）

当期末	
基準価額	9,070円
純資産総額	485百万円
騰落率	△11.5%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、主として外国投資信託への投資を通じて、ブルームバーグ・グローバル総合浮動調整インデックス(円ヘッジベース)に連動する投資成果を目指して運用を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

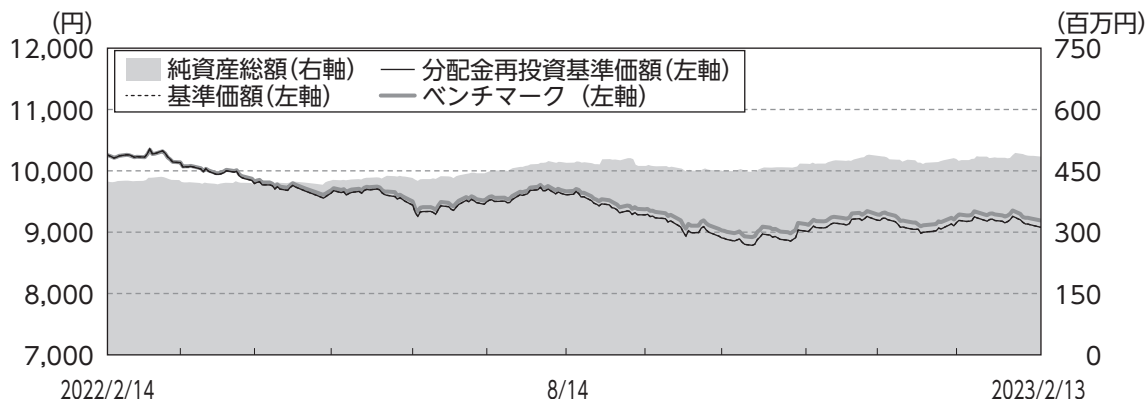
<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号
本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先
TEL：03-6432-7746
受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで
※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。
 - <運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記ホームページアドレスにアクセス
⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択
⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



期首：10,254円

期末：9,070円(既払分配金0円)

騰落率：△11.5%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合浮動調整インデックス(円ヘッジベース)です。詳細につきましては4ページをご参照ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

当ファンドは「バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシーバンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンドーインスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc」(以下、「主要投資先ファンド」)を主要投資対象として高位に組み入れており、主要投資先ファンドの価格変動が基準価額の主な変動要因となります。なお、主要投資先ファンドは組入外貨建資産について対円での為替ヘッジを行っており、為替変動リスクは抑制されております。

当期は、主要投資先ファンドが期を通して軟調に推移したため、基準価額は前期末比で下落しました。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2022年2月15日～2023年2月13日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	12円 (5) (5) (2)	0.132% (0.055) (0.055) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,434円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	1 (－) (1) (1) (0)	0.016 (－) (0.006) (0.010) (0.000)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	13	0.148	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

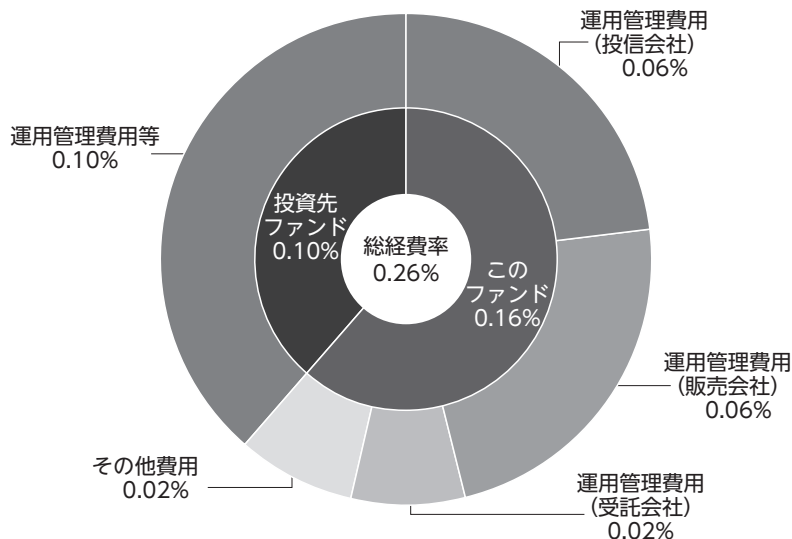
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.26%です。



総経費率 (①+②)	0.26%
①このファンドの費用の比率	0.16%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.10%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

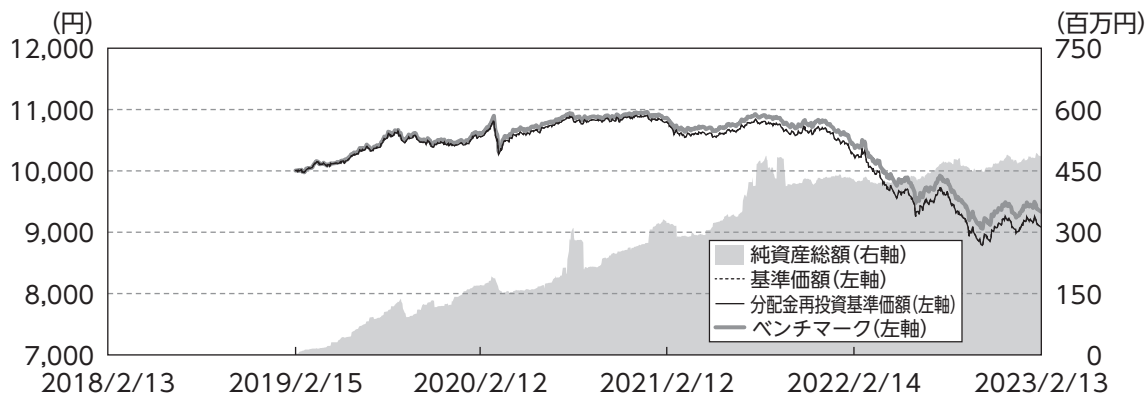
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年2月13日～2023年2月13日)



		2019年2月15日 設定日	2020年2月12日 決算日	2021年2月12日 決算日	2022年2月14日 決算日	2023年2月13日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,561	10,797	10,254	9,070
期間分配金合計(税込)	(円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)	(%)	—	5.6	2.2	△5.0	△11.5
ベンチマーク騰落率	(%)	—	6.2	2.3	△4.1	△10.5
純資産総額	(百万円)	3	170	323	424	485

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合浮動調整インデックス(円ヘッジベース)です。詳細につきましては以下をご参照ください。

(注4) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2019年2月15日の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合浮動調整インデックス(円ヘッジベース)です。「ブルームバーグ・グローバル総合浮動調整インデックス」は、日本を含む世界の投資適格債券の代表的な指数です。世界の国債に加え、政府関連債、社債および資産担保証券で構成されます。なお、「ブルームバーグ・グローバル総合浮動調整インデックス(円ヘッジベース)」は、「ブルームバーグ・グローバル総合浮動調整インデックス」について対円の為替ヘッジを考慮して算出された指数です。

5 投資環境

当期のグローバル債券市場は、先進国を中心に期を通して軟調な推移となりました。

国債市場では、主要先進国の長期金利が上昇(債券価格は下落)しました。コロナ禍で低迷していた経済活動の正常化に加え、中国・上海でのロックダウン(都市封鎖)長期化に伴うサプライチェーン(供給網)の混乱継続、混迷するウクライナ情勢、そしてこれらを要因とした原油などの資源価格の高止まりなどから、グローバルにインフレ懸念が拡大し、FRB(米連邦準備制度理事会)などの主要中央銀行が継続的に政策金利を引き上げるなか、長期金利は(日本を除き)2022年10月にかけて上昇基調となりました。その後、米消費者物価指数(CPI)の伸び減速などをを受けてインフレ鎮静化見通しが広がり、長期金利の上昇は一服しましたが、米国などの強い雇用指標などを背景に利上げが長期化することへの懸念が燻るなか、長期金利は大幅に低下する展開にはならず、期末までもみあう展開となりました。なお、日本の長期金利は、日本銀行の長短金利操作で長期金利の許容変動幅を拡大したことを受けて、12月にまたまって上昇しました。

社債市場では、長引くインフレ懸念を受けた主要中央銀行による急速な金融引き締めにより景気減速の懸念が高まったことなどを背景に、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)は2022年10月にかけて拡大する傾向となりましたが、その後はグローバルなインフレ鎮静化期待の高まりなどをうけて、スプレッドは縮小する展開となりました。

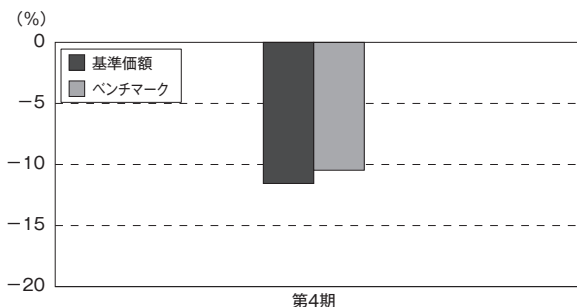
6 当ファンドのポートフォリオ

追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、主要投資先ファンドの組入比率を高位に維持しました。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額(分配金込み)とベンチマークの騰落率の対比です。

当期の基準価額の騰落率は $\Delta 11.5\%$ となり、ベンチマーク比では $\Delta 1.1\%$ となりました。主な差異要因としては、主要投資先ファンドに起因するベンチマークとのパフォーマンス乖離に加え、当ファンドにおける信託報酬等の要因が挙げられます。



8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第4期	
	2022年2月15日~2023年2月13日	
当期分配金 (円)	—	
(対基準価額比率) (%)	(—)	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	125	

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き主要投資先ファンドの組入比率を高位に維持する運用を行います。なお、投資信託財産の一部を、親投資信託である「楽天・国内マネー・マザーファンド」受益証券に投資します。

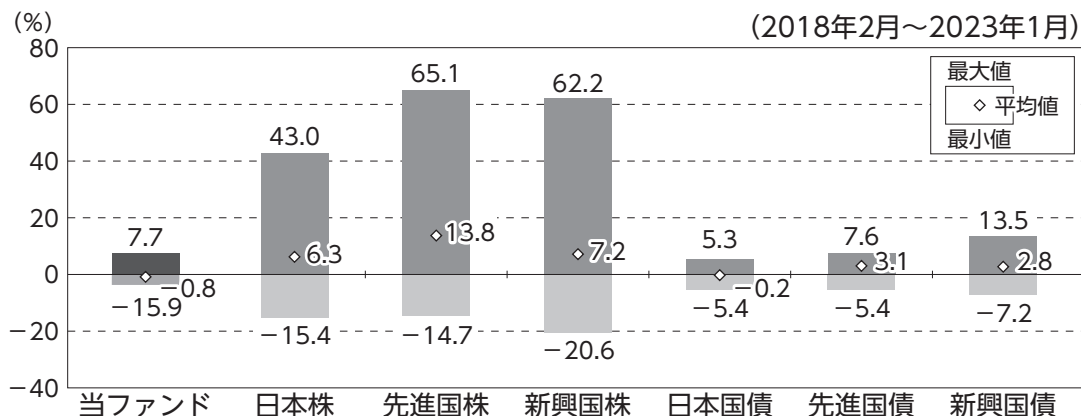
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券／インデックス型
信託期間	無期限(2019年2月15日設定)
運用方針	日本を含む全世界の投資適格債券市場の動きをとらえることを目指して、ブルームバーグ・グローバル総合浮動調整インデックス(円ヘッジベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①主にアイルランド籍円建て外国投資信託(以下、「外国投資信託」)への投資を通じて、ブルームバーグ・グローバル総合浮動調整インデックス(円ヘッジベース)に連動する投資成果を目指します。なお、投資信託財産の一部を、親投資信託である「楽天・国内マネー・マザーファンド」の受益証券に投資します。 ②外国投資信託において、原則として実質組入外貨建資産の対円での為替ヘッジを行います。 ③外国投資信託への投資割合は、原則として高位を維持することを基本とします。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるよう、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。なお、当ファンドにかかる2020年1月までの年間騰落率については、ベンチマークを用いて算出しています。

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス (円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債 (日本除く) インデックス (円ベース)

新興国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て高流動性国債インデックス (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

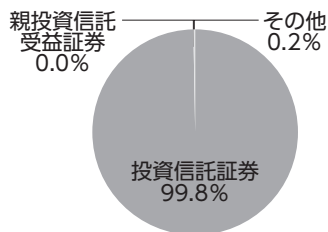
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

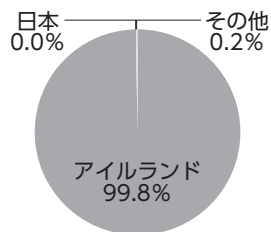
■組入ファンド

	当期末
バンガード・インバースメント・シリーズ・ピーエールー - バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド - インステイテューショナル・プラス円ヘッジAcc	99.8%
楽天・国内マネー・マザーファンド	0.0%
その他	0.2%
組入ファンド数	2

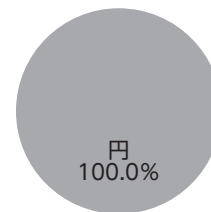
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項目	第4期末
	2023年2月13日
純資産総額	485,126,754円
受益権総口数	534,846,830口
1万口当たり基準価額	9,070円

※期中における追加設定元本額は286,232,044円、同解約元本額は165,078,797円です。

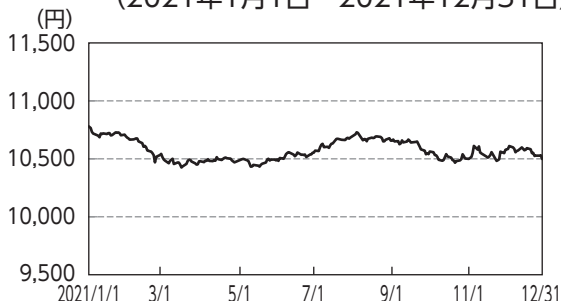
3 組入ファンドの概要

バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド－インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2021年1月1日～2021年12月31日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

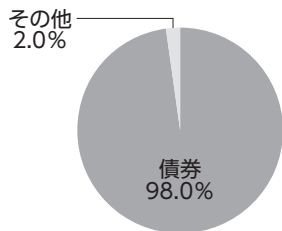
■組入上位10銘柄

(2021年12月31日現在)

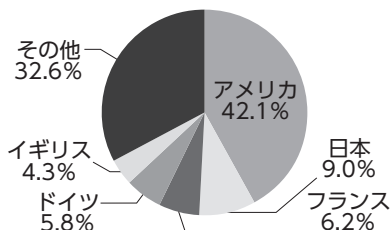
	銘柄名	比率 %
1	Federal National Mortgage Assn. 2052/1/1	1.2
2	Federal National Mortgage Assn. 2052/1/1	0.9
3	Federal National Mortgage Assn. 2052/1/1	0.7
4	French Republic Government Bond OAT 2024/2/25	0.6
5	Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 2027/11/15	0.5
6	Federal National Mortgage Assn. 2051/5/1	0.5
7	Spain Government Bond 2024/5/31	0.5
8	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 2025/7/1	0.4
9	Government National Mortgage Assn. 2051/12/20	0.4
10	United States Treasury Note/Bond 2023/8/15	0.4
	組入銘柄数	13,257

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分

当該情報が取得できないため記載しておりません。

(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

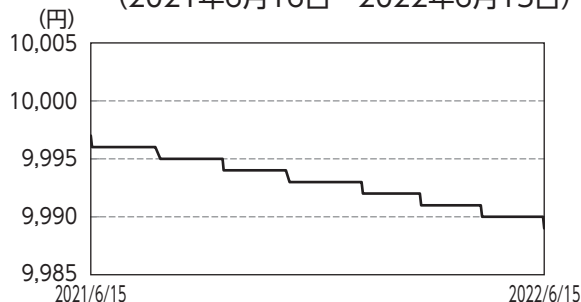
3 組入ファンドの概要

楽天・国内マネー・マザーファンド

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2021年6月16日～2022年6月15日)



■1万口当たりの費用明細

(2021年6月16日～2022年6月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は9,993円です。

(注)費用項目については2ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

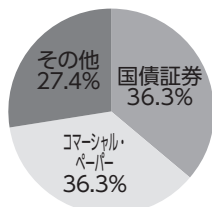
■組入上位10銘柄

(2022年6月15日現在)

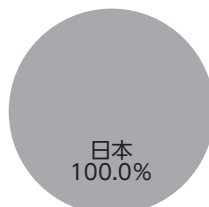
	銘柄名	発行国	比率 %
1	第1085回国庫短期証券	日本	36.3
2	オリコオートL046B	日本	36.3
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		2	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

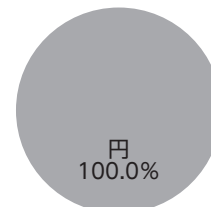
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

「Bloomberg®」およびブルームバーグ・グローバル総合浮動調整インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「BISL」)をはじめとする関連会社 (以下、総称して「ブルームバーグ」) のサービスマークであり、楽天投信投資顧問株式会社 (以下「当社」) による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは当社とは提携しておらず、また、楽天・全世界債券インデックス (為替ヘッジ) ファンド (以下「当ファンド」) を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。